

漢字学習のアイデア

新出漢字の読み書きを覚える学習は、子どもにとって意外に大きな壁となっています。先生方も子どもの頃にひたすら漢字を書く練習をしたことと思います。

そこで今回は、新出漢字を効率よく覚えたり、短時間で読み書きの練習をしたりすることができるアイデアを2つ紹介します。

その1 漢字ノートは「たて」から「よこ」へ

新出漢字の練習をするときは、漢字ノートが多く使われます。学年によってマスのは数は違いますが、一行ごとに「たてに」新出漢字を練習していくことが多いようです。(図1)

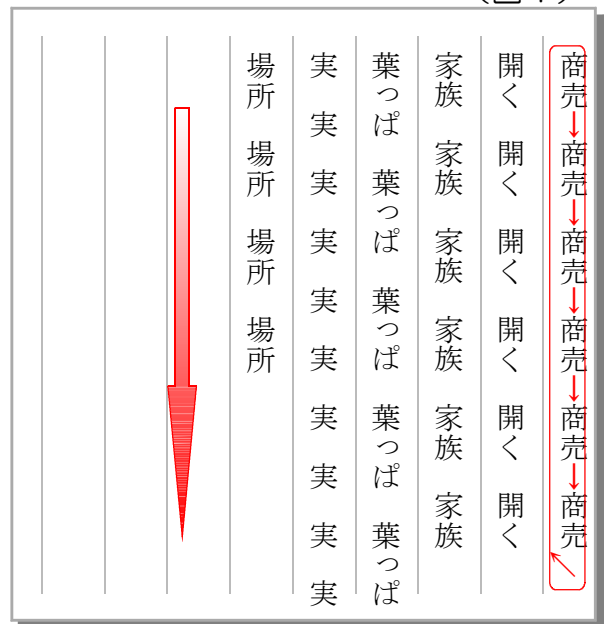
しかし、同じ漢字を何度もくり返し書いているうちに「覚えよう」という意識がいつの間にか「早く終わらせよう」という意識に変わってきてしまいます。また、途中で間違えて書くと、その間違いに気づかないまま書き続けることになってしまいます。

この問題点を解決した練習方法が(図2)です。練習する方向を「たて」から「よこ」に変えただけです。同じ漢字を惰性で練習する弊害を解消できます。授業では次のように使うとよいでしょう

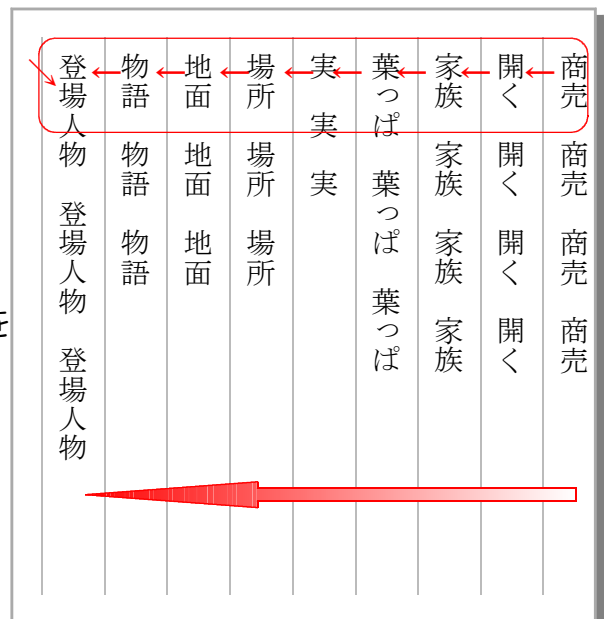
- 1 行頭に新出漢字を使った熟語を全部書く。
- 2 2段目以降は「よこ」の方向に練習する。
- 3 教師は机間巡視して、字形や筆順の誤りをその場で指導する。
- 4 授業で残った部分を宿題にする。
- 5 翌日、漢字ノートを点検する。
(※最下段の文字だけチェックすればよい。)



(図1)



(図2)



その2 毎時間の読み書き練習を短時間で

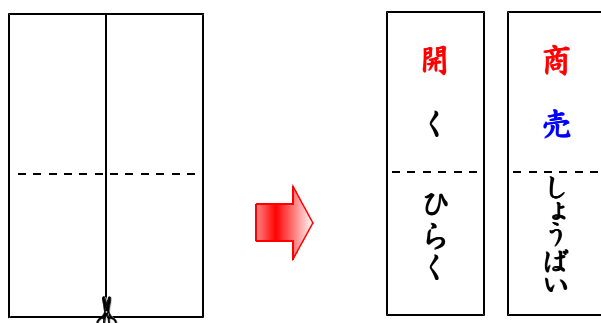
新出漢字や読み替えの漢字を1回練習したからといって、すぐに身に付くわけではありません。少なくとも単元の学習をしている間は、読み書きの練習をくり返しさせたいものです。

そこで、簡単に作れて、毎時間練習のできるカードを紹介します。

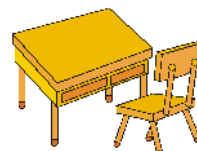


【作り方】

- 1 B4判の用紙（画用紙、厚手の上質紙など）を縦に半分に切ります。
- 2 さらに2つ折りにしたあと、広げます。
- 3 上半分に新出漢字を使った熟語や読み替えの漢字を書きます。
- 4 下半分に読み方を書きます。
- 5 2つ折りの形にもどします。



- ・新出漢字は赤で。
- ・読み替えの漢字は青で。
- ・読みに送り仮名はつけない。
- ・毛筆で書くと点画がより明確になる。



【使い方】

- 1 読む練習に使う。
 - ① 2つに折って上半分だけを見せ、読ませます。フラッシュカードのように使えば、10枚を10秒で読むことができます。一斉に読ませる、列ごとに読ませる、一人一人順番に読ませる、などバリエーションが広がります。
- 2 書く練習に使う。（漢字豆テスト）
 - ① 2つに折って下半分だけが見えるように黒板に貼ります。（5枚くらいがよい。）
 - ② 国語のノートの下3～4cmに線を引き、漢字を書く。
 - ③ 黒板に貼ったものを裏返して上半分が見えるようにし、答え合わせをする。
- 3 くり返し使う。
 - ① 1と2を単元の学習の間、授業始めの5分間で行い、習得として使う。
 - ② 1と2を学期末の定着として使う。
 - ③ 1と2を学年末の定着として使う。

